

(外国人留学生入試第1回)

令和8年度 大学院人間社会科学研究科

経済学・経営学専攻

経済学プログラム（経済社会政策コース） 入学者選抜試験問題

専門科目試験 出題意図

（ 観光論 ）

まず、関東や近畿に外国からの訪問者が極端にかたよっているという基礎的な判断ができることが求められる。関東には東京、近畿には京都や大阪があり、それぞれオーバーツーリズムが問題になっていることを指摘できることが望ましい。

問題点としてオーバーツーリズムを挙げた場合、その解決策として、たとえば東北や中国、四国地方など、インバウンド観光の伸び悩んでいる地域への観光客の分散化が挙げられる。特に東北や中国地方は北海道や九州といったインバウンド観光客にとって人気がある地域にも隣接しているので、立地の優位さを生かしたプロモーションを具体例として挙げることができる。

なお、オーバーツーリズム以外の問題点を挙げた場合でも、出題した図に関するデータを的確に分析し、それに対して問題点と解決策を的確に答えていれば正解とする。ただし、いずれの場合も具体的な事例なしに抽象論だけ述べている場合は大幅に減点する。